

# 第 13 次 5 ヶ年計画党中央建議のポイント（1）

田中 修

## はじめに

10月26－29日に開催された党5中全会は、第13次5ヶ年計画党中央建議（以下「建議」）を採択した。本稿では、比較的良好にこの建議のポイントを整理して解説している、国家発展・改革委員会徐紹史主任の記者会見（11月3日）の概要を紹介する。

## I. 第 12 次 5 ヶ年計画の回顧

2011－2014年、わが国の経済社会の発展は、新たに大きな段階に上がった。この4年間のわが国の年平均成長率は8%であり、昨年GDPは63.6兆元と、初めて10兆ドルを突破した。

わが国は、世界第2の経済体でもある。今年1－9月期、世界経済がいずれも不景気な状況下、中国経済は依然として6.9%の成長を維持し、世界経済への寄与率は30%を超えた。

我々は既に初歩的に、第12次5ヶ年計画の主要発展目標は期限どおりに実現でき、第12次5ヶ年計画が提起した主要任務も期限どおり達成できるものと評価しており、これは、第13次5ヶ年計画期の経済社会発展のために良好な基礎を打ち固めた。

## II. 「建議」の3大核心内容

### 1. 「建議」は、イノベーション・協調・グリーン・開放・共に享受、という「5大発展」理念を提起した

これは、習近平同志を総書記とする新たな指導集団の治国・治政の新思想を、発展理念の上に集中的に体現・概括したものであり、中国の特色ある社会主義建設実践の深刻な総括であり、中国の特色ある社会主義発展理論の内容を豊富にし、向上させたものであり、第13次5ヶ年計画編制と第13次5ヶ年計画期間の発展を指導する思想・魂でもある。

「建議」は、次のように指摘している。「5大発展」理念を牢固に樹立し、かつ確実に貫徹することは、わが国の発展の全局に関わる深刻な変革である。発展目標を実現し、発展の難題を打開し、発展の優位性を十分に育てるためには、「5大発展」を牢固に樹立し、深く推進しなければならない。

#### （1）イノベーションによる発展を推進する

イノベーションは、発展をリードする第一の動力である。新常态の下、我々が直面する最大の試練は、「中等所得の罅」を乗り越えることであり、この難題を突破するための根本の出口は、イノベーションによる発展にある。

第12次5ヶ年計画期間、わが国の科学技術イノベーションは大きな進歩を得たが、イノ

バージョン能力・自主的な技術・知名ブランドに欠けており、科学技術成果の転化率・科学技術の進歩への寄与率は、先進国となお小さくない格差がある。

第13次5ヵ年計画期間は、イノベーションを国家発展の全局の核心に位置づけなければならない。

## （2）協調的な発展を推進する

知ってのとおり、わが国は、協調的な発展の方面で、比較的際立った3つの問題が存在する。

- ①都市と農村の二元構造と、都市内部の二元構造という矛盾が、依然比較的際立っている。
- ②地域の発展がアンバランスであり、東部・中部・西部、東北地方の間がアンバランスになっている。
- ③社会の文明程度・国民の素質と、経済社会の発展水準が、なお釣り合っていない。

このため、第13次5ヵ年計画期間は、協調的な発展という要求に基づき、地域間の協同、都市・農村の一体化、物質文明と精神文明の協調発展を引き続き推進しなければならない。協調的な発展の中で発展の空間を開拓し、脆弱分野の強化の中で発展の持続力を増強する。

## （3）グリーンな発展を推進する

現在、長期に累積された大気・水・土壌汚染の問題は、わが国で比較的際立っており、生態環境の改善に対する人民大衆の呼び声は比較的強烈である。

このため、第13次5ヵ年計画期間、我々は資源節約・環境保護という基本国策を堅持し、資源節約型・環境友好型の社会の建設を加速し、グリーン・低炭素・循環的な発展を推進して、わが国さらには世界の生態安全のために貢献しなければならない。

## （4）開放的な発展を推進する

今日の中国は、既に世界最大の貨物貿易国、最大の外貨準備国となっており、外資吸収と対外投資でも世界の前列にいる。中国と世界経済は既に相身互いの構造を形成している。

このため、第13次5ヵ年計画期間は、よりハイレベルな開放型経済を発展させ、世界経済のガバナンスに積極的に参加し、より広範な利益共同体を構築しなければならない。

## （5）共に享受する発展を推進する

近年、わが国は民生の改善・保障の上で大量の政策を実施し、顕著な成果を得た。しかし、人民大衆の期待に比べれば、公共サービスと社会保障体系はなお不完全であり、均等化の程度も十分高くはなく、社会管理と矛盾への取締り能力はなお不足している。

このため、第13次5ヵ年計画期間、我々は「発展は人民のためにあり、発展は人民に依拠し、実現した発展の成果は人民が共に享受する」ことを堅持しなければならない。

これが「5大発展」の理念であり、「建議」の最も核心的な内容である。

## 2. 「6つの堅持」という発展原則を提起した

「建議」は人民の主体的地位を堅持し、科学的発展を堅持し、改革深化を堅持し、法に基づく治国を堅持し、国内・国際の2つの大局を統一的に企画することを堅持し、党の指導を堅持するという、「6つの堅持」の発展原則を提起した。この6つの堅持は、習近平同志を総書記とする党中央が治国・治政において基本的に守り従うべきものを充分体现している。

### ①人民の主体的地位を堅持する

人民の福祉増進・人の全面的な発展を、発展の出発点・帰着点とし、人民を中心とした発展を真に実現しなければならない。

### ②科学的発展を堅持する

発展方式の転換を加速し、経済の中高速成長を維持し、ミドル・ハイエンド水準へと邁進し、持続可能な発展を実現しなければならない。

### ③改革深化を堅持する

各方面の体制メカニズムを早急に整備し、発展のために制度的保障と持続的な動力を提供しなければならない。

### ④法に基づく治国を堅持する

中国の特色ある社会主義の法治システム、法治国家、法治経済、法治社会を建設し、経済社会の発展を法治化の軌道に引き入れなければならない。

### ⑤国内・国際の2つの大局を統一的に企画することを堅持する

全方位的な対外開放を推進し、グローバル経済に深く融けこみ、互惠・ウインウインで、共同して発展する開放構造の形成を推進しなければならない。

### ⑥党の指導を堅持する

党の執政能力・執政水準を不断に高め、わが国の発展の船が正確な航路に沿って浪を打ち砕いて前進することを確保しなければならない。

## 3. 小康社会の全面的実現という目標・要求を提起した

小康社会の全面的実現には、實際上2つの大前提がある。

### ①「五位一体」

知ってのとおり、経済建設、政治建設、文化建設、社会建設、生態文明建設である。

### ②「4つの全面」

小康社会の全面的実現、改革の全面的深化、全面的な法に基づく治国、全面的な厳しい党の統治である。

「五位一体」と「4つの全面」という戦略手配に基づき、今回の「建議」はまた5方面の目標・要求を提起した。

- ①経済の中高速成長を維持する
- ②人民の生活の質・水準を普遍的に向上させる
- ③国民の素質と社会の文明程度を顕著に向上させる
- ④生態環境の質を総体として改善する
- ⑤各方面の制度をより成熟させ、定型化する

これらの発展目標の設定には、以下の3つの特徴がある。

#### (1) 国情に符合している

国内・国外の発展環境を深く分析し、第12次5ヵ年計画期間の発展の連続性を十分考量し、さらに時と共に前進し時勢に臨機応変に対応して、目標の内容を豊富にした。

経済の中高速成長を維持するという目標は、GDPと都市・農村個人所得倍増という既定の目標を実現するだけでなく、発展のバランス・包容性・持続可能性を高める基礎の上に、新常态を十分体現し、経済成長の質・効率をより重視しなければならない。

#### (2) 庶民の側に近づいている

目標は、人民の福祉を増進し、人の全面的な発展を促進することを、発展の出発点・帰着点とすることを要求している。「建議」は、戸籍人口の都市化率を急速に高め、公共サービス体系をより健全化し、基本公共サービスの均等化水準を着実に高め、公共文化サービス体系を基本的に実現する等の目標を提起した。

これらの目標は、いずれも人民大衆が最も関心をよせるものであり、各レベルの党委員会と政府が実施することにより、人民大衆に目に見える恩恵を受けさせる必要がある具体的な事柄である。

#### (3) 問題志向である

「建議」は、目標設定の上で、小康社会の全面的実現の難点と不足の問題を際立たせた。「建議」は、所得格差の縮小、農村貧困人口の脱貧困実現、貧困県の全面解消、地域的な全面貧困の解決を提起した。さらに、主要汚染物質排出総量の大幅な減少、生態環境の質の総体としての改善等の目標を提起した。これらの目標はいずれも問題志向を体現したものである。

私は主として、この3方面の状況を紹介した。発展・改革委は、「建議」の精神を真剣に貫徹実施し、科学的に効果がある計画要綱の制定に努力する。

(11月10日記)